



特定非営利活動法人

カシオペア医療介護支援センター

事務局 二戸市福岡字八幡下11番地1

☎ 0195-26-9335 FAX 0195-26-9336

e-mail himehotaru.npo@gmail.com

特定非営利活動法人(NPO法人)

**カシオペア医療介護支援センターの活動の
展開について**

【新アプリ 2026年8月4日運用開始】

2026. 7

特定非営利活動法人(NPO法人) カシオペア医療介護支援センター設立

「ひめほたるネット」の活動から発展して、カシオペア医療介護支援センターが設立され、その活動を継承しながら、次への活動に繋がっています。

令和4年2月 「非営利特定活動法人カシオペア医療介護支援センター」設立

理事長に岩手県立二戸病院副院長 高橋 浩氏選出

サイボウズ(株)「kintone」の情報共有ツールを使用して地域内医療・介護連携強化を図るものとする。

内閣府設立認証 令和4年2月16日

法務局登記 2月22日

令和5年6月 NPO法人カシオペア医療介護支援センターのホームページ開設

<https://casiopea-net.or.jp/>



特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センターの目的

当法人は、カシオペア地域の住民が安心できる生活を実現するために、地域包括ケアシステムによる在宅医療介護連携推進に取り組むとともに、ICT(情報通信技術)システム「カシオペアNET(カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム)」を活用した医療、介護、福祉の連携を図る活動を包括的に行うことを目的としています。

令和8年度 役員

理事長：高橋 浩

副理事長：菅原 光宏、中田 勇司

理事：森川 伸彦、金澤 悟、駒木 彬了、菊池 英理子、田中館 淳一

監事：川村 英一、泉山 武將

令和8年度 事務局

常勤職員：漆田 薫、高倉 希穂

嘱託職員：田中館 淳一(兼 理事)、菊池 英理子(兼 理事)、阿部 誠



ピックアップ記事



2026.7.27
カシオペアネットワーク通信
第9号を発行しました

カシオペアネットワーク通信第9号.pdf...



2026.7.13
令和8年度通常総会を開催
しました

令和8年6月22日（月）午後6時30分から二戸地区
合同庁舎において、当NPO法人令和8年度通常総会...



2026.5.12
個人情報保護及び情報セキ
ュリティに関する取り組みにつ
いて

当NPO法人では、個人情報の適切な取扱い及び情報セ
キュリティの確保を図るため、関係法令及び各種ガイ...

カテゴリー

お知らせ

記事一覧 >

- 2026.7.27** カシオペアネットワーク通信第9号を発行しました
- 2026.7.13** 令和8年度通常総会を開催しました
- 2026.7.8** 令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画を掲載しました
- 2026.5.25** 令和8年度通常総会開催のお知らせ
- 2026.5.12** 個人情報保護及び情報セキュリティに関する取り組みについて

リンク・データ集

記事一覧 >

- 2025.4.10** わたしの「生きる」ノートのご紹介
- 2024.9.4** 歯科訪問診療依頼書兼同意書
- 2024.2.1** カシオペア地域 かかりつけ医マップ
- 2023.7.13** 関連機関・施設リンク
- 2023.6.26** カシオペア地域 介護・福祉マップ

NPO法人カシオペア医療介護支援センター設立の経緯

平成22年（2010年）4月、カシオペア連邦二戸地区（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）における地域住民の健康維持に資するため医療機関と介護施設等の連携を強化することを目的に、岩手県立二戸病院を中心に「カシオペア医療福祉連携研究会」（ひめほたるネット）を立ち上げ、シームレスな医療・介護サービスの提供を目指して活動してきました。

特に地域内の医療機関及び介護施設等の間において紹介を行う場合の患者・利用者の病態を、地域内で統一した様式で紹介し情報共有を行うことで業務を簡便化、さらに職種別の活動では栄養管理において食形態の平準化を行い地域内での転院・入所する患者・利用者の方々の食サービスの向上を図りました。

こうした取組みを継承し、より医療従事者及び介護従事者の業務を簡便化するため、ICT（情報通信技術）を利用して情報共有を行うことを目的に非営利特定活動法人（NPO法人）カシオペア医療介護支援センターを、令和4年（2022年）2月に設立いたしました。

「ひめほたるネット」が積み上げてきた医療機関と介護施設等との垣根のない連携がより発展するよう「カシオペアNET（カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム）」を活用し推進していきます。

特定非営利活動法人（NPO）法人とは

特定非営利活動法人（NPO法人＝Non-Profit Organization）は、特定非営利法人促進法に基づき、特定された公益的（社会貢献）活動を非営利に推進していく法人です。

NPO 法人の社員は、法人の構成員として、総会に出席して NPO法人の運営に参加していただく会員のことです。

NPO 法人では、一緒に活動を推進していく構成員が10人以上いなければならない、活動の趣旨に賛同して一緒に活動しようとする者が10人も集まらない活動は、公益的な活動とは言えないと考えられているためです。

NPO 法人の社員は、一般的には「正会員」と呼ばれており、ここでいう社員とは、「この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体」であり、NPO 法人の設立趣旨、活動内容に賛同し、入会金や会費の定めによりその負担を承諾してくださる個人・団体が社員（正会員）となります。令和8年6月現在、74事業所が正会員です。

特定非営利活動法人（NPO）カシオペア医療介護支援センターでは

当NPO法人は、カシオペア地域の住民が安心できる生活を実現するために、地域包括ケアシステムによる在宅医療介護連携推進に取り組むとともに、ICTシステムを活用した医療、介護、福祉の連携を図る活動を包括的に行うことを目的に設立しました。

当NPO法人の目的に賛同して入会した福祉、医療、介護、行政団体及び事業所については、年会費3,000円の正会員となりますが、県（県立病院を除く）、広域行政事務組合、市町村（地域包括支援センターを含む）の行政団体については、会費の納入は基本的に求めないものとしています。

地域包括ケアシステムは、保険者である二戸地区広域行政事務組合や市町村が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要とされています。

市町村では、厚生労働省から3年ごとの介護保険事業計画の策定・実施を通じて、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築していくことの必要性を示されており、二戸地区においてもその取り組みを進めています。

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムに関連する主な法律

1 **介護保険法**：この法律は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的としています。

2 **社会福祉法**：この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まつて、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図ることを目的としています。

3 **地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律**：この法律は、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することを目的として取りまとめられ、**主に介護保険法、医療法、社会福祉法、障害者総合福祉支援法、児童福祉法などの31本の法律の関連部分を一括して改正**するいわゆる束ね法である。

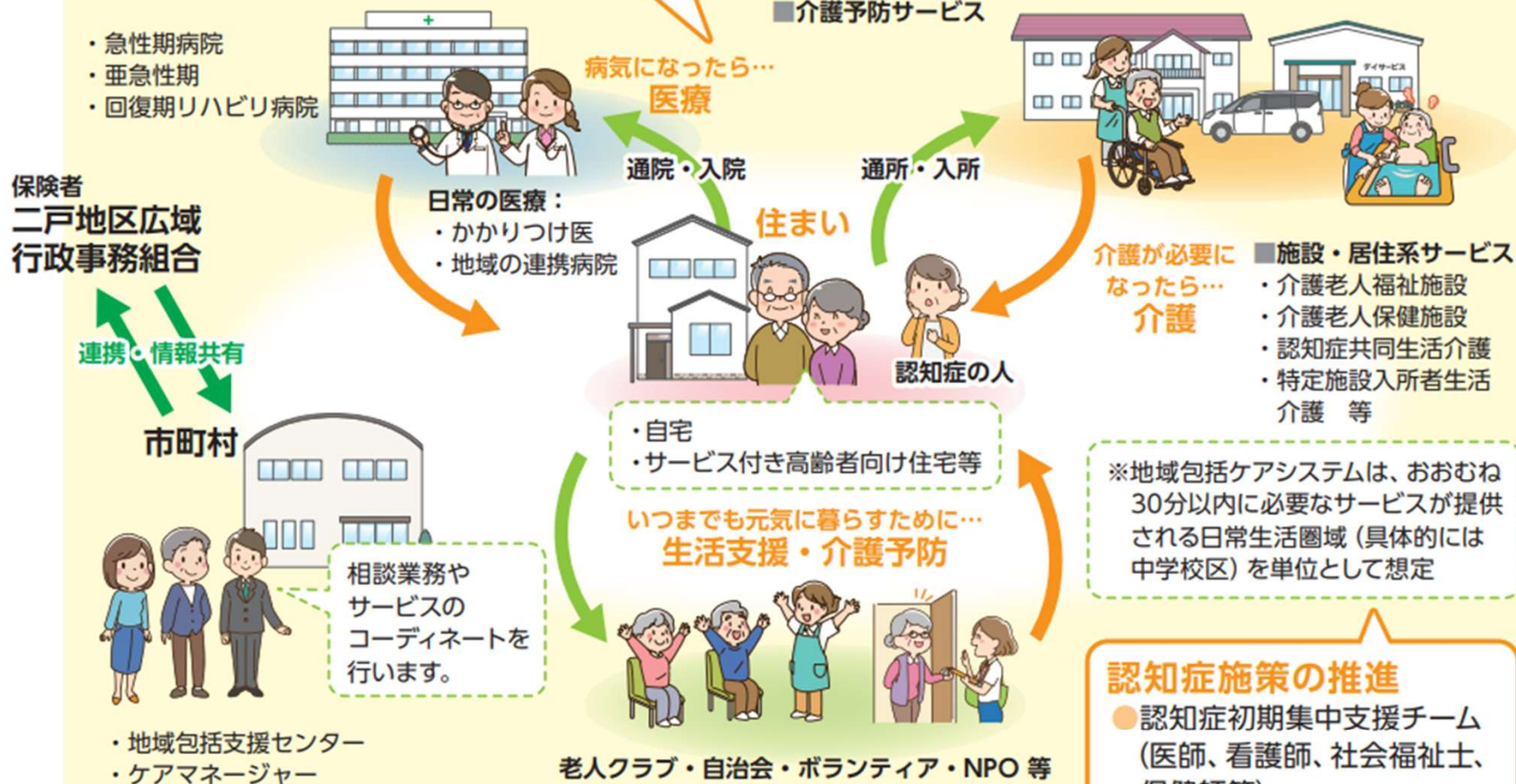
4 **認知症基本法**：この法律は、認知症の人が尊厳と希望を持って暮らすことができるように、認知症に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

これらの法律は、地域包括ケアシステムの実現に向けた基盤を提供し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活続けることを支援することを目的としています。

地域包括ケアシステムの姿(二戸地区のシステムの深化・推進)

医療・介護連携

- NPO法人カシオペア医療介護支援センター
- 市町村と地域包括支援センターの「地域ケア会議」等



「カシオペアNET」が取り組む地域包括ケアシステム

安心して医療・介護を受けられる地域と住民・家族と想いを共有し希望に満ちた人生を支援する地域の創造へ

カシオペア地域の住民が円滑な医療・介護・福祉行政を享受できるシステムを創造することを目的に、「カシオペアNET（正式名称：カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム）」を段階的に発展構築し積極的に活用していきます。

これまでの取り組みにより構築してきた連携基盤、ICTを活用した情報共有体制により、在宅医療・介護連携の更なる推進と地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを行います。

「地域包括ケア支援アプリ」や「介護認定審査支援アプリ」、「グループ・スレッド」等を活用して、情報共有、地域連携の仕組みの高度化を図ります。

次に示す３段階に事業展開していくこととし、それぞれの段階の中で住民への啓発や「カシオペアNET」を主に使用する従事者へのユーザー登録拡大や趣旨・操作説明等の啓発活動、会員登録拡大についても力を入れていきます。医療・介護・福祉行政の大きな連携とNPO法人はもとより地域全体で住民の健康を守る意識を高めることを主題としています。

第1段階 First phase(ファースト フェーズ)

2022年度から 在宅医療・看護による在宅療養の推進と在宅介護連携に向けた情報の共有・患者と在宅療養希望を共有し医師による在宅療養の指示発信

- ・ 患者及び家族と在宅医療従事者との療養情報共有の必要性について説明と承諾取得
- ・ 入所条件などの施設窓口情報の充実
- ・ 訪問看護師及びケアマネージャーによる在宅患者の状態と生活環境の確認とデータ化
- ・ 訪問看護師による在宅患者の容態・治療経過や意識変化についての記録
- ・ 医師との容態経過の共有と治療指示の発信
- ・ 情報共有シートを活用した患者・利用者情報の共有
- ・ 患者の治療経過を在宅医療従事者(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネージャー)によるカンファレンスによる情報共有と治療方針の確認(zoom活用による時間負担軽減)
- ・ 包括支援センターが在宅介護移行にかかり必要な患者情報の取得
- ・ 利用者からの介護認定申請を市町村行政から二戸広域行政事務組合にデータを送信し、介護認定審査状況や主治医意見書等を担当機関で閲覧できる

第2段階 Second phase(セカンド フェーズ)

在宅介護における利用者情報の共有と本人・家族が希望する円滑な施設入所を推進する包括システムの構築

- ・ 利用者・家族の希望する在宅介護の聞き取りと共有
- ・ 歯科・口腔ケア情報の取得・入力
- ・ 調剤薬局の在宅情報の取得・入力
- ・ 利用者の情報共有で包括支援センター及びケアマネージャーによる介護度に応じたケアプランの支援
- ・ 希望介護施設の確認と施設入所までのプロセス管理
- ・ 医療から介護に移行した利用者の容態及びケア状態の記録
- ・ 介護従事者及び医療従事者とのカンファレンスによる介護状態の共有(「カシオペアNET」とzoom連動活用による時間負担軽減)
- ・ 在宅看取りにかかる医師と介護従事者の共有
- ・ 包括支援センター等行政による患者動向のデータ取得による地域在宅療養の実態把握

第3段階 Third phase(サードフェーズ)

住民・患者情報の本人利用、住民個人の希望を従事者全体で共有できる
アプリ開発で地域全体で共有する包括システムへ

- 「カシオペアNET」を活用した利用者・家族も参加するカンファレンスの実施
- 住民が自身の状態を閲覧することができ、さらに状態を入力できる「健康手帳」(仮称)
機能を作成して活用する
- 住民が事前確認書(ACP)作成することができる
- 終末期患者・家族からの状態発信を訪問看護及び救急行政が情報共有することによる
患者支援(看取り支援も含む)
- 住民情報を本人・家族・医療・介護・行政が共有することで日常からの容態・意識変化に
呼応した地域全体の支援の確立

「カシオペアNET」のスレッドの積極的活用について

「カシオペアNET」による連絡やイベントの開催案内、スレッドの活用した連携や情報の共有、アプリの活用等を積極的に進めて行くためには、会員登録を行ない、そのうえでユーザー登録を行うこととなりますが、まずは実際に使える状況とすることが必要です。

そのために、理事会で検討したうえで、**会員登録をしていない事業所等であっても担当者レベル等においてユーザー登録を行なってもらい「カシオペアNET」へ参加することができるよう**にしています。

各市町村においては、それぞれが地域包括ケアシステムを円滑に推進するために、地域包括ケア調整会議等を開催していることと思います。その**会議等での連絡調整や情報の共有、データ等の提供等に「カシオペアNET」の活用**を積極的に活用してください。

地域包括ケア調整会議等には、いろいろな事業所や職種のかたがたが参加していることから、まだユーザー登録をされていない方々についても登録を進めていただき、各市町村ごとに「グループ」登録を行なって、そこに必要な「スレッド」を設定して活用することで、連絡調整や情報の迅速化、共有化が進んでいきます。

「グループLINE」のように「スレッド」を活用することができ、連絡調整だけではなく、大きな容量のデータの共有も可能となりますので、迅速で効率的な運用が可能となります。

各市町村においても、それぞれ活用したい場合は、具体的な検討をして積極的な活用に取り組んでください。

各市町村の地域包括ケアシステムでの運用が進み、二戸地区全体でのシステムの運用につながっていけば、新しい事業展開が活性化していくものと確信していますので、よろしくお願いいたします。

岩手県保健医療計画(2024-2029)の「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」に岩手県立二戸病院が、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」に当カシオペア医療介護支援センターが位置付けられました。

【2024年3月岩手保健医療計画策定】

在宅医療連携拠点:カシオペア医療介護支援センター

2 在宅医療に必要な連携を担う拠点

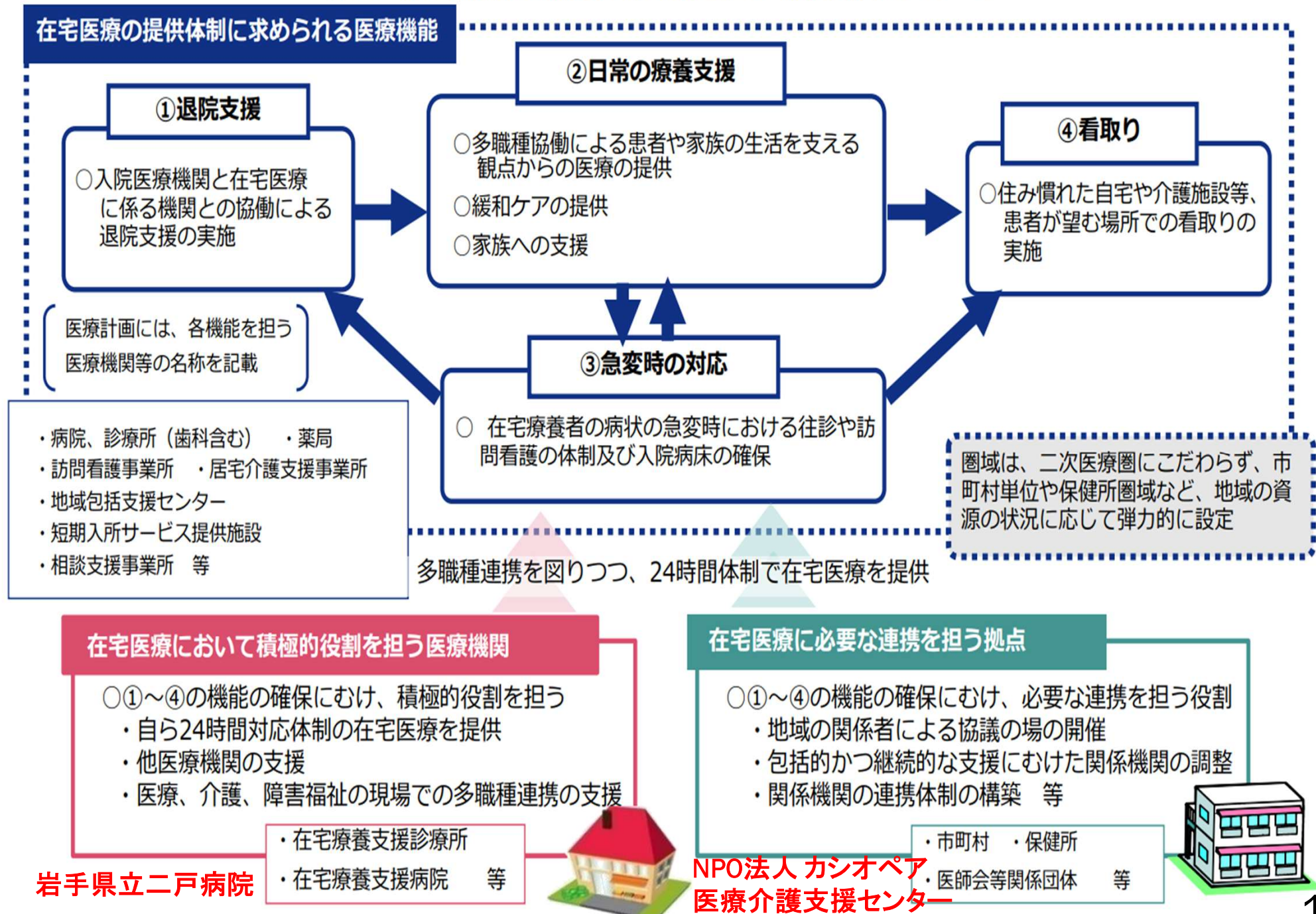
次の内容により岩手県保健医療計画(2024-2029)に掲載する。

拠点名	取組事項				
	①	②	③	④	⑤
カシオペア医療介護支援センター		○		○	○

※ 取組事項の○印は、下記の取組事項に対応しているもの。

「在宅医療に必要な連携を担う拠点」が行う取組事項

- ① 地域の医療及び介護、障害福祉の関係者による会議を定期的で開催し、在宅医療における提供状況の把握、災害時対応を含む連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施すること
- ② 地域包括ケアシステムを踏まえた在宅医療の提供体制を整備する観点から、地域の医療及び介護、障害福祉サービスについて、所在地や機能等を把握し、地域包括支援センターや障害者相談支援事業所等と連携しながら、退院時から看取りまでの医療や介護、障害福祉サービスにまたがる様々な支援を包括的かつ継続的に提供するように、関係機関との調整を行うこと
- ③ 質の高い在宅医療をより効率的に提供するため、関係機関の連携による急変時の対応や24時間体制の構築や多職種による情報共有の促進を図ること
- ④ 在宅医療に係る医療及び介護、障害福祉関係者に必要な知識・技能に関する研修の実施や情報の共有を行うこと
- ⑤ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発を実施すること



在宅医療連携拠点:カシオペア医療介護支援センターの具体的な取り組み実績

【令和6年度】

取組事項	取組事項に係る具体的な取組内容	在宅医療・介護連携推進事業※
①	カシオペア NET 検討委員会の開催 (3 回)	○
	包括支援部会の開催 (1 回)	○
	関係機関へのヒアリング及びアンケート調査の実施	○
②	カシオペア機関・窓口情報の更新	○
	カシオペア地域医療・介護マップの作成	○
	医療・介護・福祉関係者からの相談対応及びアプリ活用支援の実施	○
③	訪問看護ステーションの体制確保に向けた取組の実施 ※訪問看護体制の確保は、在宅医療提供体制の整備に関する取組であり、医療・介護関係者間の連携推進を目的とした在宅医療・介護連携推進事業とは事業の位置付けが異なることから、本回答では当該事業の対象外として整理しています。	○
	歯科医師会との連携による「歯科訪問診療依頼書兼同意書」の作成及び運用開始	
	終末期患者の情報共有（心肺蘇生等を望まない意思が示された傷病者に対する救急活動プロトコール）に向けた救急行政との連携及び会議への出席（1 回）	
	情報共有ツール「カシオペア NET」の構築、機能拡充及び参加施設の拡大	
④	カシオペア NET フォーラムの開催 (2 回)	○
	カシオペア NET 操作説明会の開催 (1 回)	○
	各市町村及び関係機関が実施する会議・研修会での講演及び情報提供 (6 回)	○
	各市町村及び関係機関が実施する会議への参加 (7 回)	○
⑤	ACP に係る住民向け講演会の開催 (2 回)	○
	在宅医療に係る住民向け講演会の開催 (1 回)	○
	高校生を対象としたカシオペア講座への講師派遣及び講義 (2 クール全 12 回) ※カシオペア講座は、地域医療への理解促進及び将来的な人材育成を目的とした教育的取組であり、在宅医療・介護連携推進事業とは趣旨が異なることから、本回答では当該事業の対象外として整理しています。ただし、地域医療への理解促進という観点では関連する取組であると認識しています。	○
	住民向けチラシの作成及び広報誌の発行 (3 回)	

在宅医療連携拠点：カシオペア医療介護支援センターの具体的な取り組み実績

【令和 7 年度】

取組事項	取組事項に係る具体的な取組内容	在宅医療・介護連携推進事業※
①	カシオペア NET 検討委員会の開催（1 回）	○
	包括支援部会の開催（2 回）	○
	各市町村及び関係機関との個別会議の開催（8 回）	○
	岩手県医療政策室との意見交換及び拠点研修会への参加（2 回）	○
②	カシオペア機関・窓口情報の更新	○
	カシオペア地域医療・介護マップの作成	○
	医療・介護・福祉関係者からの相談対応及びアプリ活用支援の実施	○
③	終末期患者の情報共有（心肺蘇生等を望まない意思が示された傷病者に対する救急活動プロトコール）に向けた救急行政との連携及び説明会の開催（3 回）	○
	情報共有ツール「カシオペア NET」の構築、機能拡充及び参加施設の拡大	○
	行政職員、地域包括支援センター等との情報共有スペースの設置及び活用	○
④	カシオペア NET フォーラムの開催（1 回）	○
	カシオペア NET デモ説明会の開催（3 回）	○
	各市町村及び関係機関が実施する会議・研修会での講演及び情報提供（5 回）	○
	各市町村及び関係機関が実施する会議への参加（9 回）	○
⑤	在宅医療に係る住民向け講演会の開催（1 回）	○
	高校生を対象としたカシオペア講座への講師派遣及び講義（2 クール全 12 回）	
	広報誌の発行（3 回）	○

在宅医療連携拠点：カシオペア医療介護支援センターの具体的な取り組み予定

【令和8年度（予定）】

取組事項	取組事項に係る具体的な取組内容	在宅医療・介護連携推進事業※
①	カシオペア NET 検討委員会の開催	○
	包括支援部会の開催	○
	カシオペア NET の次段階の運用にかかる医療部会（仮称）の設置及び部会の開催	○
	各市町村及び関係機関との個別会議の開催	○
②	カシオペア機関・窓口情報の更新	○
	カシオペア地域医療・介護マップの作成	○
	相談支援及びアプリ活用支援体制の整備	○
③	関係機関の連携体制構築支援の実施	○
	情報共有ツール「カシオペア NET」の構築、機能拡充及び参加施設の拡大	○
	介護情報基盤との共有検討	○
④	カシオペア NET フォーラムの開催	○
	カシオペア NET 説明会の開催	○
	各市町村及び関係機関との連携による講演及び研修会の開催	○
⑤	ACP 及び在宅医療に係る住民向け講演会の開催	○
	住民向けパンフレットの作成及び広報誌の発行	○

※ 在宅医療・介護連携推進事業への該当の有無については、厚生労働省が示す事業内容を参考に、医療・介護関係者間の連携体制の構築、情報共有体制の整備、相談支援、研修及び住民への普及啓発等に直接資する取組を中心に整理しています。

令和8年度通常総会 理事長挨拶（菅原副理事長代読） 令和8年6月22日

皆さま、本日はお忙しい中、特定非営利活動法人「カシオペア医療介護支援センター」の令和8年度通常総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。日頃より、当NPO法人の事業推進にご理解とご協力をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

地域のみなさまが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み、いわゆる「地域包括ケアシステム」に取り組んでいます。当NPO法人の活動として、在宅医療介護関係者などの皆様と一緒に、情報共有、フォーラム、研修等を行い、ICTシステムを活用した医療、介護、福祉の連携を図る活動を推進しており、岩手県保健医療計画(2024年から2029年)には「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として、位置付けられております。

2010年から医療機関と介護施設等との垣根のない医療・介護サービスの提供を目指した取り組みを行ってきた「カシオペア医療福祉連携研究会」ひめぼたるネットの活動を引き継ぎ、当NPO法人は、2022年(令和4年)2月に設立し、その活動を続けてまいりました。ICT(情報通信技術)システム「カシオペアNET(カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム)」を活用した医療、介護、福祉の連携を包括的に行うこととして、事業展開を行ってきています。この活動に賛同していただき、現在74の事業所等が正会員となっており、誠にありがとうございます。当NPO法人のICTシステム「カシオペアNET」は、サイボウズ株式会社のアプリソフト「kintone」を使用しており、NPOの取り組みに対する「チーム応援ライセンス」の対象に採択され、年間900ユーザーの登録に対して年間1万円程度と極めて廉価に運用をしております。このアプリで訪問診療、訪問看護で対応していたアプリを、地域包括ケアシステムのなかでの医療・介護・福祉の連携に対応できるものへ、再構築していくこととして取り組んできました。

医療・介護・福祉資源情報を基盤とし、在宅医療。介護連携の更なる推進と、ICTを活用したおしらせ、スレッド等情報共有体制の充実に取り組み、地域内の多職種で構成する「カシオペアNET検討委員会」、「包括支援部会」、「二戸市包括」などを継続的に開催し検討協議を重ね、このたび、「地域包括ケア支援アプリ」と「介護認定審査支援アプリ」として構築することができました。現在、7月には活用できるよう調整を進めているところです。いよいよ本格稼働を行うところまでできましたのは、関係各位の大変なご支援とご協力があったからだと思っており、御礼を申し上げます。このアプリは、住民の皆様が地域で安心できる生活を実現するために、医療・介護・福祉の関係者が情報を共有し、住民・利用者の皆様が安心したサービスを受けていただくためのものです。これにより、迅速で質の高い支援につながるものと確信しておりますので、連携をとりながら積極的な活用をお願いいたします。

本日の通常総会においては、第1号から第4号までの4議案をご提案しておりますので、慎重審議のほどよろしくお願いいたします。

(令和8年5月27日現在)

	分類	市町村	事業所等の名称
1	病院	二戸市	岩手県立二戸病院
2	病院	一戸町	岩手県立一戸病院
3	病院	軽米町	岩手県立軽米病院
4	診療所	二戸市	医療法人 桜心会 おりそ内科循環器クリニック
5	診療所	二戸市	医療法人 菅クリニック
6	診療所	二戸市	医療法人 青松会 二戸クリニック
7	診療所	二戸市	医療法人 よこもり眼科クリニック
8	診療所	二戸市	カシオペア医院
9	診療所	二戸市	かわさきクリニック
10	診療所	二戸市	すがわら消化器内科
11	診療所	二戸市	千葉耳鼻咽喉科医院
12	診療所	二戸市	二戸市国民健康保険金田一診療所
13	診療所	二戸市	二戸市国民健康保険浄法寺診療所
14	診療所	一戸町	いちのへ内科クリニック
15	診療所	一戸町	一戸森眼科
16	診療所	一戸町	小野寺内科医院
17	診療所	一戸町	松井内科医院
18	歯科	二戸市	医療法人 桜歩会 ますだ歯科クリニック
19	歯科	二戸市	医療法人 陌仁会 森川歯科医院
20	歯科	二戸市	右門歯科クリニック
21	歯科	二戸市	菅歯科
22	歯科	二戸市	国香歯科医院
23	歯科	二戸市	国香歯科医院
24	歯科	二戸市	窪島歯科医院
25	歯科	二戸市	沢藤歯科医院
26	歯科	二戸市	みさわ歯科医院
27	歯科	一戸町	岩淵歯科医院
28	歯科	一戸町	奥中山高原歯科クリニック
29	歯科	一戸町	小野寺歯科医院
30	歯科	一戸町	こしみず歯科クリニック
31	歯科	一戸町	ぼっぱ歯科クリニック
32	歯科	軽米町	堀米歯科医院
33	歯科	軽米町	宮沢歯科医院
34	薬局	二戸市	カシオペア調剤薬局
35	薬局	二戸市	川又薬局
36	薬局	二戸市	木いちご薬局
37	薬局	二戸市	金田一薬局
38	薬局	二戸市	くるみ薬局
39	薬局	二戸市	すがわら薬局
40	薬局	二戸市	つくし薬局 二戸店

	分類	市町村	事業所等の名称
41	薬局	二戸市	つくし薬局 軽野店
42	薬局	二戸市	軽野調剤薬局
43	薬局	一戸町	つくし薬局 一戸店
44	薬局	一戸町	つくし薬局 向町店
45	薬局	一戸町	めぐみ薬局
46	薬局	軽米町	日本調剤 軽米薬局
47	訪問看護	二戸市	公益社団法人 岩手県看護協会立二戸訪問看護ステーション
48	介護	二戸市	株式会社 ケア・テック二戸営業所
49	介護	二戸市	社会福祉法人 いつつ星会
50	介護	二戸市	社会福祉法人 共生会
51	介護	二戸市	社会福祉法人 桂泉会
52	介護	二戸市	社会福祉法人 桂泉会 特別養護老人ホーム 浄心園
53	介護	二戸市	社会福祉法人 二戸市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所
54	介護	二戸市	社会福祉法人 二戸市社会福祉協議会 浄法寺居宅介護支援事業所
55	介護	二戸市	社会福祉法人 麗沢会
56	介護	二戸市	住宅型有料老人ホーム くつろ樹
57	介護	二戸市	有限会社 コミュニティワークス 介護センターカシオペア
58	介護	一戸町	介護老人保健施設 こずやサンプルク
59	介護	一戸町	株式会社 結愛サービス公社
60	介護	一戸町	社会福祉法人 慈孝会
61	介護	軽米町	特別養護老人ホーム いちい荘
62	介護	九戸村	特定非営利活動法人 青い空
63	福祉	二戸市	社会福祉法人 カシオペア障連
64	福祉	二戸市	特定非営利活動法人 三の丸ひまわり
65	その他	二戸市	有限会社 たきじゅう
66	その他	二戸市	一般社団法人 二戸医師会
67	その他	二戸市	二戸歯科医師会
68	その他	二戸市	二戸薬剤師会
69	行政等	二戸市	岩手県二戸保健所
70	行政等	二戸市	二戸地区広域行政事務組合消防本部
71	行政等	二戸市	二戸市健康福祉部
72	行政等	二戸市	二戸市地域包括支援センター
73	行政等	一戸町	一戸町地域包括支援センター
74	行政等	軽米町	軽米町地域包括支援センター
75	行政等	九戸村	九戸村地域包括支援センター

正会員数
二戸市 50
一戸町 17
軽米町 6
九戸村 2
合計 75

(令和8年7月現在)

二戸医師会様、二戸歯科医師会様、二戸薬剤師会様からも
正会員に加入され、ご寄付もいただいています。

令和 8 年度事業計画

カシオペア N E T の運用について

NPO法人カシオペア医療介護支援センター

令和 8 年度通常総会説明資料：令和 8 年 6 月 2 2 日



NPO法人カシオペア医療介護支援センターの事業の目的

定款

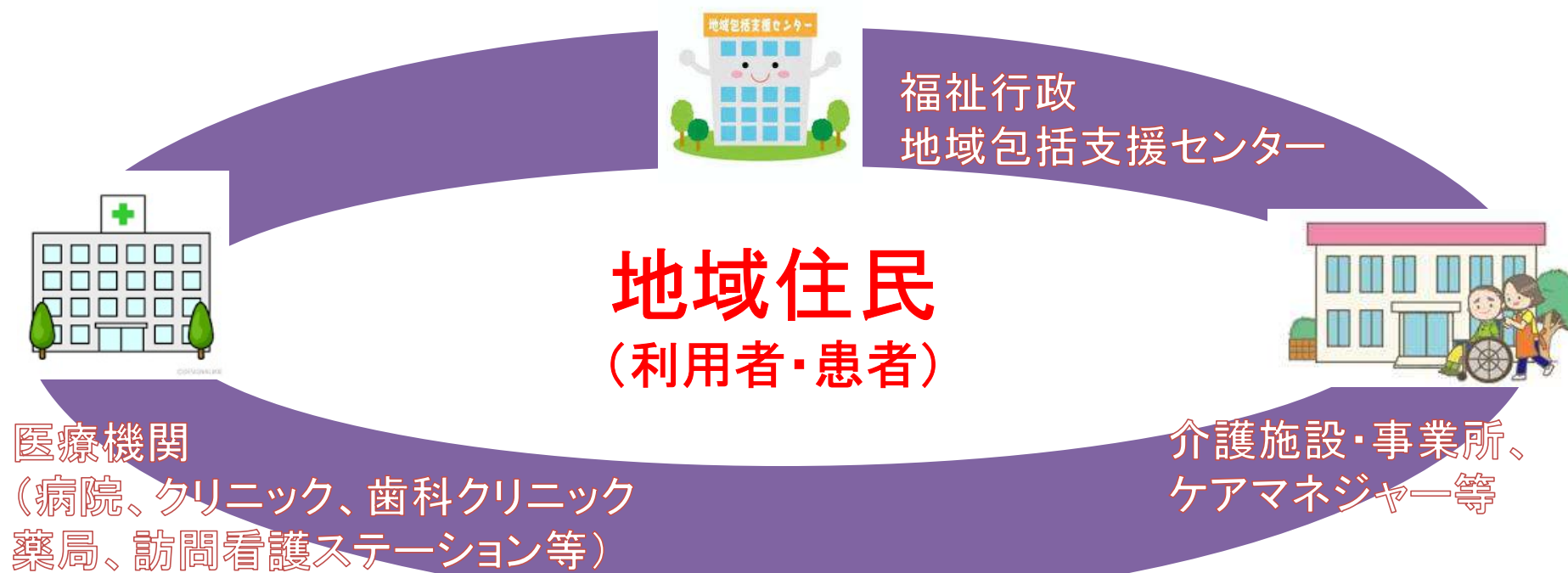
第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、カシオペア地域の住民が安心できる生活を実現するために、地域包括ケアシステムによる在宅医療介護連携推進に取り組むとともに、ICTシステムを活用した医療、介護、福祉の連携を図る活動を包括的に行うことを目的とする。

NPO法人カシオペア医療介護支援センターの事業

医療・介護・福祉の関係者が情報を共有し、住民・利用者が安心したサービスを受けられる地域包括ケア支援システムを構築する



カシオペアNET(Kintone)システムでつなぎ、連携をスムーズにします

Kintoneの利便性（基本仕様）

- ・地域内及び各機関・事業所のイベントや連絡をシステムで共有（FAX不要）



漆田 薫
@Everyone

2025/7/2 10:39

会員のみなさま
いつも大変お世話になっております。
先日（6/25(水)）の、令和7年度通常総会および懇親会にご出席いただきましたみなさま、大変お疲れ様でした。
ご出席いただきありがとうございました。
また、出欠のご連絡および委任状のご連絡等にご協力いただきありがとうございました。
通常総会につきましては、正会員数67名、出席正会員数65名（うち委任状出席37名）で、みなさまのおかげをもちまして、無事に終えることができました。
懇親会につきましては、お忙しい中36名のご出席をいただき、みなさまとの交流など有意義な時間を過ごすことができました。
多大なるご協力に感謝申し上げます。
今後とも、みなさま方のご支援とご協力をお願い申し上げます。
本当にありがとうございました。
のちほど、ホームページに総会の事業報告書、事業計画書等を掲載させていただきますので、ご覧いただけますと幸いです。

ご覧いただきましたら、いいね！をいただけますと嬉しいです(*^^*)

👍 20 いいね！を取り消す 🗨 返信



高倉 希穂
@Everyone

2025/5/23 16:49

日頃より当NPO法人の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、当NPO法人令和7年度通常総会を下記のとおり開催いたします。

日 時：令和7年6月25日（水）18時30分～19時30分
会 場：若手県二戸地区合同庁舎 大会議室（二戸市石切所荷渡6-3）
議 案：第1号議案 令和6年度事業報告及び活動決算承認の件
第2号議案 令和7年度事業計画承認の件
第3号議案 令和7年度活動予算承認の件
第4号議案 役員任期満了に伴う改選の件

お知らせ

📄 イベント案内: 予定 1 - 1 (1件中)

開催日時	終了時間	イベント名	開催場所	開催方法等	参
2026-06-22 18:30	20:00	令和8年度通常総会	二戸地区合同庁舎1階...	第1号議案 令...	懇

📄 お知らせ掲示板: 連絡内容 1 - 3 (29件中)

連絡事項	連絡内容	作成者
【二戸病院】外来診療案内（R8.6.1～）	二戸病院より令和8年6月1日からの外...	👤 佐藤
カシオペア機関・施設窓口情報アプリの更新入力依頼について	日頃から、当NPO法人の運営にご協力...	👤 阿部
携帯室だよりNo.18発行のお知らせ	このたび、二戸病院の地域医療福祉連携...	👤 高橋

- ・メールのように意見交流できる
多人数でも同時に共有できる

電話やFAXに頼らず、効率よく連携できます

Kintoneの利便性（カシオペアNETの仕様）

利用者（患者）にとって

- ・情報を容易に共有でき安心してサービスを受けられる

医療・介護・福祉行政職にとって

- ・利用者（患者）の支援履歴をいつでもどこでもパソコン（タブレット、スマートフォン等）で共有できる
- ・施設窓口情報により、各機関・事業所の連携担当者、施設情報が一目瞭然、マップで施設位置も確認可能
- ・在宅診療（施設入所）患者の状態変化をリアルタイムに共有できる
（現在も訪問診療・訪問看護時に入力することで担当医師、訪問看護師等で共有しスピーディな支援につながる）
- ・転院・転所時も、スムーズに情報引継ぎでき履歴・真正性を確保できる
- ・医療機関、介護施設で作成した文書をシステム内で共有できる
- ・利用者（患者）の状態情報で多職種カンファレンスを簡易に行える
（診療報酬及び介護報酬加算につながる）
- ・福祉行政内では介護申請及び介護審査における主治医意見書等の申請文書をシステム内で共有することでより簡便な審査業務を行える

迅速で質の高い支援につなげる

カシオペアNETの仕様（情報セキュリティの確保）

安心して利用するために

- ・厚生労働省通達によるガイドラインに準拠
- ・利用者（患者）から個人情報取扱い同意書を取得
- ・個人情報保護として利用者（患者）の情報を職種ごと・担当者ごとに見覧・入力を制限
- ・二段階ログインで利用するユーザーのなりすましを防止（厚生労働省推奨）

個人情報をしっかり守る仕組み

カシオペアNETを活用しましょう！

運用開始 「地域包括ケア支援アプリ」及び「介護認定審査支援アプリ」を

2026年8月4日から運用開始します

現在、最終的な仕様改善を行っています
仕様改善完了しデータを移行して、運用開始します
訪問診療、訪問看護の利用者（患者）から順次入力開始予定です
カシオペアNETの伝言板、スレッド等により運用開始等を通知します
説明会を開催していきます。

みなさまのご協力とご支援をお願いいたします

カシオペアNET

(カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム)

第1段階(ファーストフェーズ)の構築内容

特定非営利活動法人

カシオペア医療介護支援センター

株式会社 ジェネシス

「カシオペアNET」とは

「カシオペアNET」は、**カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム**の通称です

サイボーズ(株)のkintoneを使用し、NPOカシオペア医療介護支援センター(カシオペアNET検討委員会、包括支援部会等)と株式会社ジェネシスと一緒にしながら検討を行いながら開発をしています

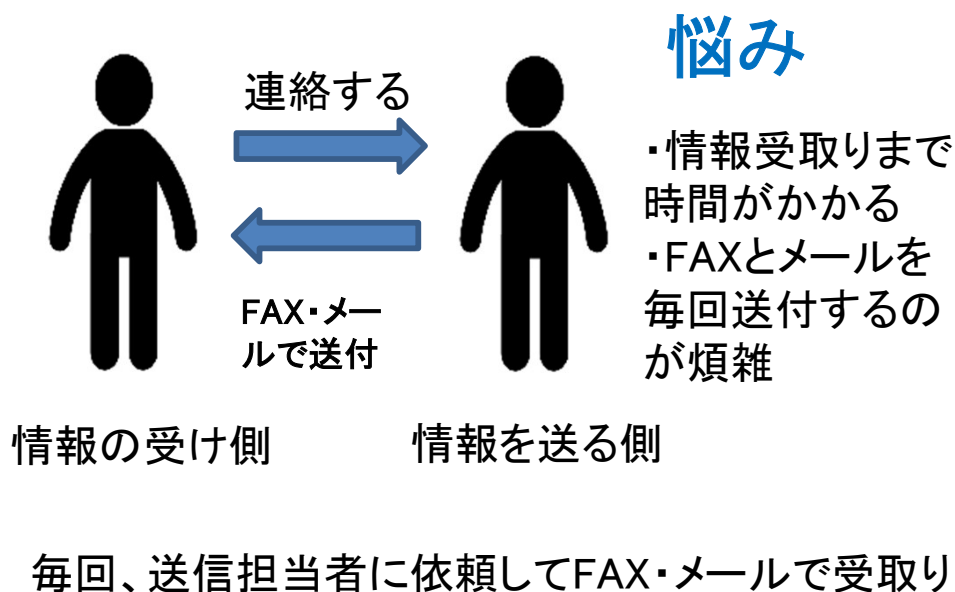
kintoneの特性を生かし、カシオペア地域の**「地域包括ケアシステム」**を**「地域包括ケア支援アプリ」**及び**「介護認定審査支援アプリ」**をICTで支援して、医療・介護・福祉行政における情報共有を迅速化します

紙ベースでの情報をシステム(ICT)でやりとりすることで情報の**一元管理と情報履歴の確保**を実現します

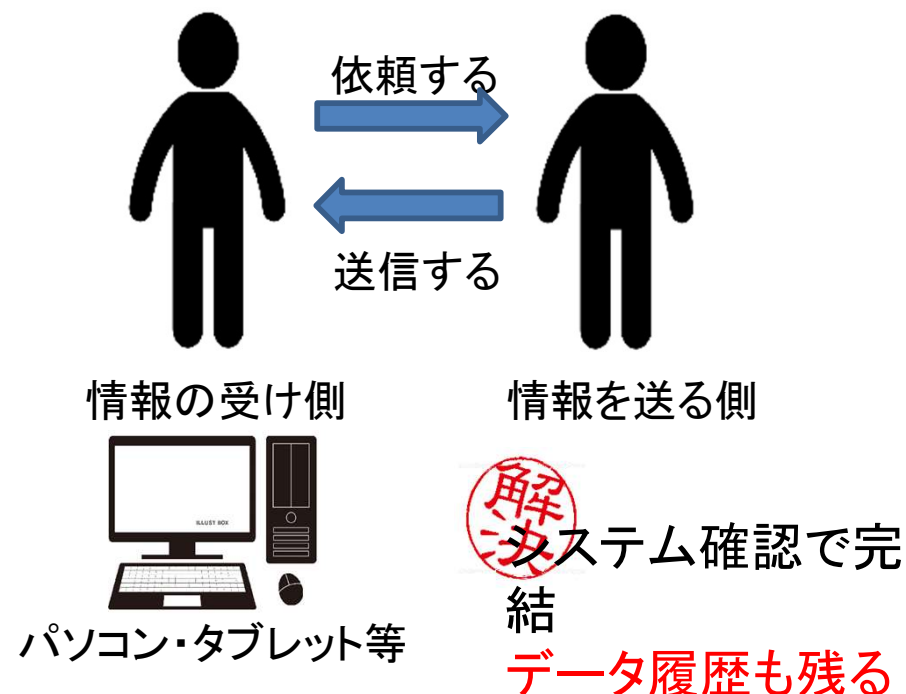
多職種での情報共有による作業の効率化で、**地域住民への医療・介護・福祉行政のサービスを向上**します

作業の省力化と情報履歴の確保

これまでの情報共有



これからの情報共有



システム化でデータの一元管理と履歴管理が可能

「カシオペアNET」構築にあたり

地域内医療・介護・福祉行政職員で構成した
「包括支援部会」「カシオペアNET検討委員会」で協働して構築

1

地域内の多職種が情報共有することで、より利便性のあるシステムとすること

2

「カシオペアNET」は、医療情報ガイドラインに基づくセキュリティ対策で利用者（地域住民）の個人情報を安全に管理する

3

利用者情報について権限を設定することで、担当する医療、介護福祉行政担当者以外は閲覧・入力を制限され、データの安全性とプライバシーを守る

4

支援終了（死亡）などの利用者の情報はデータは保持するが通常は表示はされず閲覧や編集はできない

「カシオペア NET」を 効率的に使用する

- ・ポータル(お知らせ)の活用

スペース内グループでのお知らせや目標を掲示できる

- ・スペースの設定

目的を持ったメンバーで構成されるスペース(部屋)

- ・スレッドの活用

スペースメンバーでテーマに沿って会話(対話)できる
(入力後、メールアドレスに通知が入ります)

データを添付してスペースメンバーで共有できる

※スペース内メンバー全員が閲覧可能なため個別情報に注意！

- ・アプリの活用

メンバーで作成したアプリを共有して利用できる

ポータル

- kintoneのトップページであり、kintoneの入り口となる部分
- アプリやスペースの一覧から、目的のアプリ／スペースへ移動できる
- お知らせ掲示板でメンバーに共有したい情報を掲載し、ダッシュボードとして活用できる
- 通知を確認できる



スペース スレッド

- 職種や地域でのコミュニケーションをとることができる「部屋」
- 職種ごとや地域ごとにスペースの作成が可能
- スペースを作成するとスレッドが利用可能になる
- スレッドではスペースメンバー間での交流が可能



アプリ

- ・ カシオペアNET内での情報共有を行う
- ・ 各職種の方たちが情報共有を行うために入力することが可能
- ・ 情報共有の迅速化を行い、よりよい介護、福祉サービスの提供が可能
- ・ 書類での保管だけでなく、データでの保管も可能

First Phase

メインメニュー



利用者統合情報

各アプリに入力された情報を一括で見るためのアプリ
また、各アプリへの入力もこちらのアプリから開始することが出来ます

【アクション先】

包括支援・情報共有シート・文書管理・状態報告・カンファレンス・訪問診療患者ファイル・現病歴・既往歴・利用者基本情報



利用者登録

カシオペアネットを利用することに同意された利用者様のお名前、生年月日、住所、支援状況を登録するためのアプリ

【アクション先】

利用者統合情報、情報共有シート、利用者基本情報作成、現病歴、既往歴

各アプリについて

共有メニュー

情報共有シート

医療機関を退院時出力される共通フォーマットとなります
利用者統合情報または利用者登録よりアクションボタンにて選択してください

文書管理

訪問看護指示書・口腔ケア依頼書・主治医意見書・介護サービス計画書、その他文書を保存するアプリ
利用者統合情報よりアクションボタンにて選択してください

合同カンファレンス

カンファレンスの状況・内容及び多職種カンファレンス対象者のピックアップを行うアプリ
利用者統合情報よりアクションボタンにて選択してください

訪問診療患者ファイル

訪問対象者リスト・訪問時に必要な利用者情報を集約したアプリ
利用者統合情報よりアクションボタンにて選択してください

包括支援メニュー

包括介護支援

介護保険情報・申込者情報・利用者様の状況の情報を保存するアプリ
利用者統合情報よりアクションボタンにて選択してください

利用者基本情報

日常生活自由度・介護予防に関する事項・現病歴・既往歴・現在利用しているサービス等を管理するアプリ
※カシオペアネットを利用しているユーザーへ入力した内容を送る機能があります
こちらの情報を基に情報共有シートの作成がアクションボタンより可能です
利用者統合情報または利用者登録よりアクションボタンにて選択してください

現病歴・既往歴

入院日・入所日・退院日・退所日の管理をするアプリ
利用者統合情報または利用者登録よりアクションボタンにて選択してください

システムの構築計画

ICT(kintone)を活用した「地域包括ケアシステム」を段階的に構築する

第1段階(ファーストフェーズ)

- ・在宅医療・看護の連携支援
- ・情報共有シートの共有
- ・包括支援センターの業務支援

第2段階(セカンドフェーズ)

- ・歯科、薬剤の在宅連携の支援
- ・介護施設での利用者状態共有

第3段階(サードフェーズ)

- ・救急時の利用者情報の共有
- ・利用者本人が支援内容の閲覧を可能にする

kintoneを利用した「カシオペアNET」が創造する地域包括ケアシステム

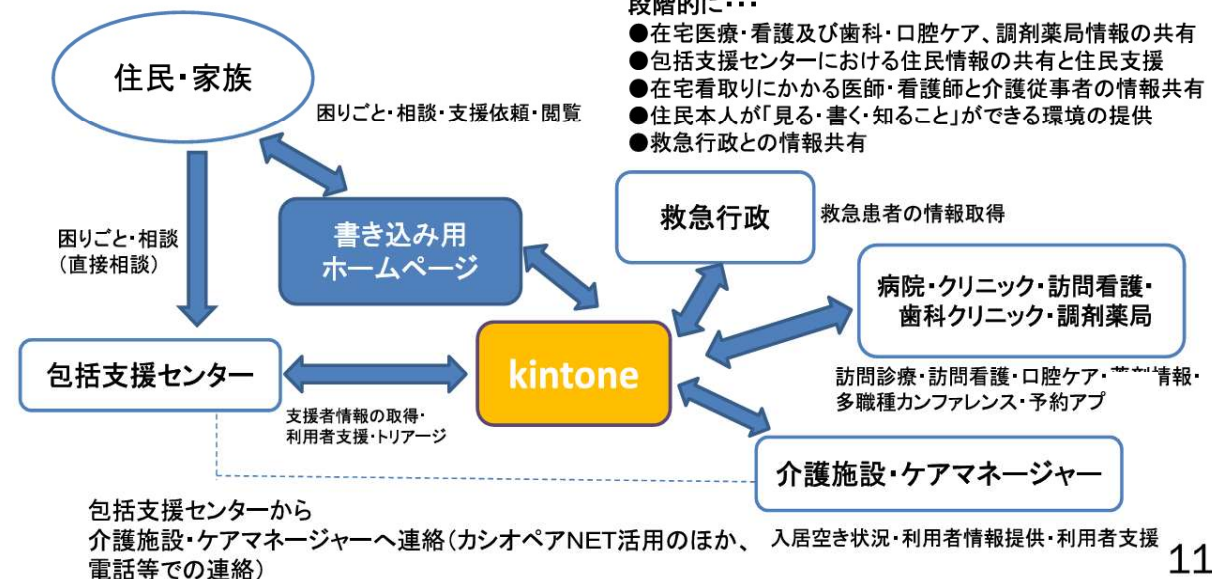
サイボウズ(株)のアプリソフトである「kintone」を本NPO法人では「カシオペアNET」という名称で活用しています。住民本人の情報を「見る・書く・知ること」ができることで、最適な医療・介護サービスを受けることができ、医療・介護・福祉関係者は必要な情報を共有することで最適な医療・介護サービス提供ができることで両者「WIN WIN」の地域環境が出来るようになります。

住民本人が自分の「健康手帳」(仮称)として「カシオペアNET」を活用し、最終的に介護の初期段階から看取りまでを地域で情報管理することが目標です。

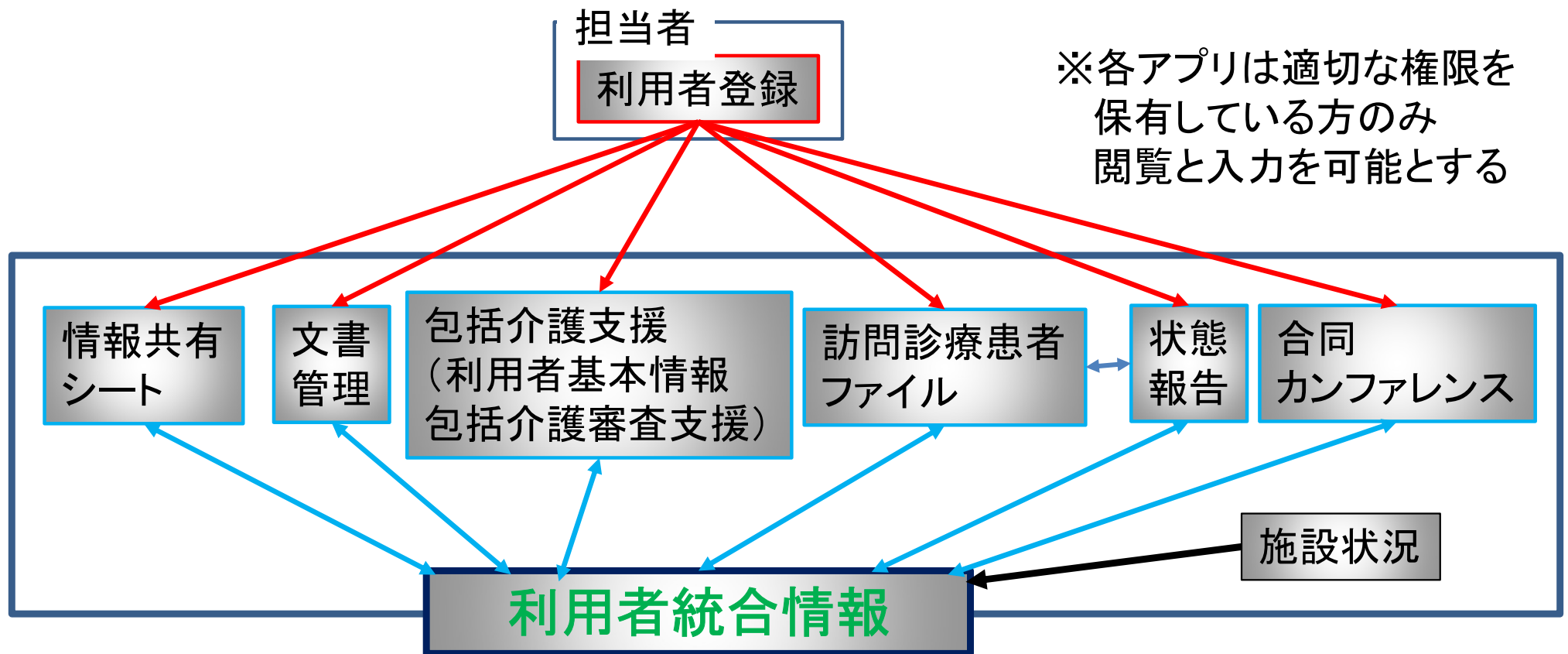
この環境は2027年度中の完成を目標として2024年までに医療に関わるシステムの構築、2026年度までに介護関係、さらに2027年度には終末期患者の情報を救急行政が情報共有できるように進めていきます。

段階的に...

- 在宅医療・看護及び歯科・口腔ケア、調剤薬局情報の共有
- 包括支援センターにおける住民情報の共有と住民支援
- 在宅看取りにかかる医師・看護師と介護従事者の情報共有
- 住民本人が「見る・書く・知ること」ができる環境の提供
- 救急行政との情報共有



ファーストフェーズのシステム構成



※利用者登録を行い、各アプリの
情報を入力する事で、
利用者統合情報に集約されていく

カシオペア医療介護支援センターの活動の方向性について 総 括

二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の4市町村、それぞれの地域包括支援センター、二戸地区広域行政事務組合と一緒に、それぞれの地域包括ケアシステムをしっかりと構築し運営していくことが、極めて重要なことです。

地域包括ケアシステムの市町村への義務付けは、介護保険法に基づいており、市町村は、3年ごとの介護保険事業計画の策定・実施を通じて、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築していくことが求められています。

当NPO法人である特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センターでは、各市町村の自主性や主体性に基づく地域包括支援システムを把握したうえで、それらと協調し、情報共有をしながら、円滑な運営に繋げるとともに、さまざまな問題や課題を解決していく手助けをしております。

円滑で的確な情報共有のために、情報通信技術（ICT）の活用で医療・介護・行政の連携を図りカシオペア地区としての地域包括ケアシステムの構築しその活用を進めています。

さらには、カシオペア地区の「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての活動にも繋がっています。

これらのことは、当NPOが単独で動くものではなく、関係機関とともに一緒になった体制により、地域住民のために対応していくものです。

より良い形で行政、地域包括支援センター、医療、介護・福祉の連携を図っていくものですので、これからもご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

重点的な取り組み

○カシオペアNET検討委員会や専門部会等による検討とアプリの発展構築と活用

○「カシオペアNET」を、福祉行政、医療及び介護を結ぶ地域全体の包括ケアに対応させ活用

○法人の目的に賛同する福祉、介護、行政団体及び事業所のNPO法人への入会、登録

カシオペアネットワーク通信

～カシオペア地域の医療・介護・福祉関係者の情報共有と住民が安心して医療・介護を受けられる地域を目指して～

令和8年度通常総会を開催しました

令和8年6月22日（月）午後6時30分から二戸地区合同庁舎において、当NPO法人令和8年度通常総会を開催しました。当日は、正会員74名のうち、表決委任者を含む70名が出席しました。

開会にあたり、高橋理事長が欠席となったため、菅原副理事長が理事長挨拶を代読しました。挨拶では、地域包括ケアシステムの推進に向けたこれまでの活動状況や、「カシオペアNET」の本格運用に向けた取り組み、今後の医療・介護・福祉のさらなる連携強化への決意が述べられました。



総会の様子

審議事項

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び活動決算報告の件
- 第2号議案 令和8年度事業計画の件
- 第3号議案 令和8年度活動予算の件
- 第4号議案 定款の一部変更の件

続いて、来賓としてご出席いただいた二戸保健所次長 千田浩晋様及び二戸地区広域行政事務組合事務局長 古舘晶様からご挨拶をいただきました。お二人からは、当NPO法人のこれまでの活動への評価をはじめ、地域包括ケアシステムの推進への期待や、今後のさらなる発展に向けた激励のお言葉をいただきました。

議事では、4議案について審議を行い、いずれも満場一致で承認されました。このうち、定款の一部変更については、役員の任期を総会の終結までとする規定の整備や、総会及び理事会における電磁的方法の活用への対応などを盛り込んだ見直しを行いました。

令和7年度 事業報告

令和7年度は、在宅医療・介護連携の拠点として、関係機関との連携強化や情報共有の推進に取り組みしました。

カシオペアNETでは、「地域包括ケア支援アプリ」や「介護認定審査支援アプリ」の構築を進め、その内容について説明会を開催するとともに、ICTを活用した多職種による情報共有体制の整備と普及促進に取り組みしました。

また、第4回カシオペアNETフォーラムを開催し、多職種連携の新たな展望について学びを深めました。

このほか、会議・研修会での講演や相談対応、救急活動プロトコルに関する理解促進への支援、地域医療を担う人材育成への協力などを通じて、地域包括ケアシステムの推進と切れ目のない在宅医療・介護連携体制の構築に取り組みしました。

令和8年度 事業計画

令和8年度は、カシオペアNETを活用した情報共有をさらに充実させ、医療・介護・福祉関係者が連携しやすい地域づくりを進めます。カシオペアNET検討委員会等での協議を通じて、地域の課題に応じた活用方法を検討するとともに、厚生労働省が進める「介護情報基盤」との連携を見据え、今後の情報共有のあり方について検討を進めます。

また、「地域包括ケア支援アプリ」と「介護認定審査支援アプリ」の機能向上を図り、より効果的な情報共有ツールとして活用が進むよう取り組みます。この2つのアプリについては、8月4日から運用を開始し、事業所や職種ごとの説明会や要望に応じた操作説明を行うなど、利用状況に応じた支援を実施します。あわせて、関係機関からの意見等も踏まえ、より使いやすいアプリとなるよう改善を進めます。

個人情報保護と情報セキュリティ対策の推進

当NPO法人では、関係法令や各種ガイドラインを踏まえ、個人情報の適切な取扱いと情報セキュリティの確保を図るため、内部規程やカシオペアNETの運用に関する方針・規程等を整備しています。

とくに、カシオペアNETは、医療・介護・福祉・行政などのさまざまな機関が連携し、患者や在宅医療者の情報を共有するシステムです。多くの関係者が個人情報を取り扱うことから、適切な情報共有を行うためには、利用する

すべての関係者が共通のルールに基づいて運用することが重要です。そのため、運用に必要な方針や規程、運用手順、同意書などを整備し、関係者が共通の理解のもとで適切に利用できる体制を整えています。

今後も、関係法令等の改正や運用状況を踏まえながら必要な見直しを行うとともに、二要素認証の導入を検討するなど、個人情報の適切な取扱いと情報セキュリティの確保に努めます。

ご挨拶

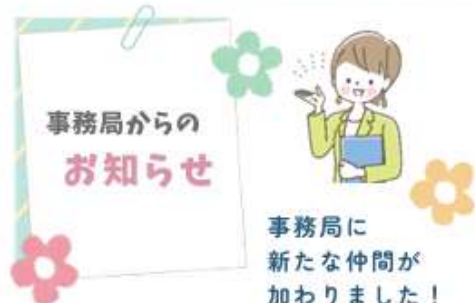
理事兼嘱託職員 菊池 英理子

2026年4月より、嘱託職員としてお世話になっております。

3月まで、訪問看護の在宅医療の現場で、主治医や外来、地域医療福祉連携室、ケアマネジャー、訪問薬剤師、施設職員、認定看護師の方々と、kintoneを使って連携しながら、利用者さんの支援を行ってまいりました。これまでに、おそろしく私が一番kintoneを使っていたと思います。

支援で困った時や連携が必要な複数の方とこのカシオペアNETで繋がることにより、支援がとてもスムーズで充実したものになりました。とても便利なこのツールをぜひカシオペア地域の支援者の方々に知って利用していただきたいと思い、カシオペアNETの普及のために尽力する所存です。

現在の事務局は、私以外適任の4人が揃っており、今後もNPO活動がさらに充実していくことと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



当NPO法人は、今年で設立5年目を迎えました。日頃より、当NPO法人の活動にご理解とご協力をいただいている関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。今年度は、事務局体制の充実を図るため、3月末に二戸訪問看護ステーションを退職した、当NPO法人理事の菊池英理子さんが、4月から理事兼嘱託職員として事務局に加わりました。菊池さんの豊富な経験や専門的な知識を生かし、事務局の新たな体制のもと、在宅医療・介護連携の推進とカシオペアNETの普及に取り組んでまいります。

活動を支援して下さる会員を募集しております

正会員	対象：当NPO法人の趣旨に賛同する医療、介護、福祉、行政団体及び事業所 年会費：3,000円
賛助会員	対象：当NPO法人の趣旨に賛同するその他の団体及び個人の方 年会費：1,000円（10人以上）

入会手続き等の詳細については、ホームページをご覧ください。

現在の会員数

正会員：75事業所
（令和8年7月27日現在）



発行：特定非営利活動法人 カシオペア医療介護支援センター事務局
〒028-6101 岩手県二戸市福岡字八幡下11-1
TEL：0195-26-9335 FAX：0195-26-9336
Mail：himehotaru.npo@gmail.com

ホームページは
こちらから▶



<https://casiopea-net.or.jp/>

特定非営利活動法人



カシオペア医療介護支援センター

私たちは、カシオペア地域の方々が安心して
医療・介護・福祉が受けられる地域を目指して
活動しています。



ICTを活用した情報共有の 仕組みづくり

地域の医療・介護・福祉行政関係者が必要な情報をより簡単に、より早く、より分かりやすく共有するため、ICT（情報通信技術）を活用した情報共有ツール「カシオペアNET」の仕組みづくりと運用を進めます。

研修会や講演会の開催と 地域住民への普及啓発活動

顔の見える連携を目指して、医療・介護・福祉行政関係者向けの研修会や講演会を開催するほか、地域住民を対象とした講座に講師を派遣するなど、在宅医療・介護への理解を深める活動を行います。

カシオペア地域内の医療・ 介護資源の把握

地域内の医療機関や介護事業所の所在地・連絡先などの情報収集を行い、情報をまとめたマップの作成や、窓口情報一覧を随時更新して関係機関の連携や調整に活用できるように情報提供を行います。

切れ目のない在宅医療と 介護の提供体制づくり

住み慣れた地域で本人が望む医療・介護サービスを安心して受けられる環境づくりを支援するために、地域の医療・介護・福祉行政関係者と協働して連携の仕組みやルールづくりを行います。

主な活動の様子

カシオペアNET検討委員会

地域内の医療・介護・福祉行政関係者が集まり、多職種による意見交換や情報共有、カシオペアNET構築に向けた議論を行っています。



カシオペアNETフォーラム

本人意思を尊重した医療・介護サービスの提供や、ICTを活用した地域包括ケアシステムの推進についてなどをテーマにした講演会を開催。



医療・介護・福祉関係者の研修

各関係機関の研修会などで、在宅医療の在り方やACPの考え方、ICTを活用した連携、カシオペアNETの説明会などを実施しています。



カシオペア医療介護支援センターの概要

平成22年4月、カシオペア地域（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）の医療と介護の連携を強化するため、岩手県立二戸病院を中心に立ち上げた「カシオペア地域医療福祉連携研究会」（通称：ひめほたるネット）の活動を継承し、次の活動に繋げるため、令和4年2月に「NPO法人カシオペア医療介護支援センター」が設立されました。

当NPO法人は、これまでのひめほたるネットが目指してきた「顔の見える連携」を継承するとともに、在宅医療に必要な連携を担う拠点としての活動を行っています。

当NPO法人では、今後急速に進展する高齢化に対応するため、ICT（情報通信技術）を活用した情報共有ツール「カシオペアNET」を利用して、医療・介護・福祉がよりスムーズに連携できる環境づくりに取り組んでいます。

今後も地域の関係機関と協働しながら、医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築・実現を目指して、医療・介護・福祉行政関係者、そして地域の住民の方々の想いをつなぐ活動を進めていきます。



ホームページ更新中

活動報告やセミナー開催予定など各種情報を随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://casiopea-net.or.jp/>



医療・介護・福祉関係者のみなさま

当NPO法人では、活動を支援して下さる会員及びカシオペアNETの参加施設を募集しております。

詳細については、ホームページをご覧ください。



特定非営利活動法人 カシオペア医療介護支援センター

〒028-6101 岩手県二戸市福岡字八幡下11-1 TEL: 0195-26-9335 FAX: 0195-26-9336
Mail: himehotaru.npo@gmail.com